2026年11月16日

一般社団法人日本損害保険協会 近畿支部

大阪府損害保険防犯対策協議会総会を開催

～損害保険事業の健全な発展のため、損保業界と関係機関が連携することの重要性を確認～

日本損害保険協会近畿支部委員会（委員長：岡田 英明・損害保険ジャパン株式会社 常務執行役員）では、11月10日（火）に大阪市内で、令和8年度大阪府損害保険防犯対策協議会総会を開催しました。来賓・顧問・会員など59名の出席がありました。

第１部では、総会開会に際し、大阪府損害保険防犯対策協議会の 岡田 英明 会長（同協議会会長は当協会近畿支部委員長が兼務）から、関係各位の連携・協力により48回目の総会が開催できたことへの謝辞とともに、「年に一度、保険金詐欺や不当請求は断じて許さないという基本理念を確認し本協議会の実効性を高めていきたい」との挨拶がありました。

来賓の財務省近畿財務局 理財部金融監督第四課 谷川 幸司 課長からは、企業等へのサイバー攻撃による個人情報漏えいや特殊詐欺等の金融犯罪が、社会の新たな脅威となっているとの話がありました。その上で、損保業界には、引き続き警察等関係各所と連携して、こうした被害から国民を守るための対策を推進するとともに、顧客本位の業務運営を徹底し、安心安全を提供する保険本来の機能をしっかり果たしてほしい旨の話がありました。また、大阪弁護士会 尾島 史賢 副会長、一般社団法人 大阪損害保険代理業協会 隼田 智貴 会長からも本協議会との緊密な連携関係を持続していきたい旨の挨拶がありました。

また、当協議会顧問の大阪府警察本部 刑事部捜査第四課 阪東 康司 暴力団対策室長から最近の暴力団情勢や匿名流動型犯罪の動向、同生活安全部府民安全対策課 横井 健志 防犯担当管理官から府内の自動車関連犯罪の発生状況、同交通部交通捜査課 前田 康晴 計画・指導担当管理官から府内の交通事故発生状況を交えて、それぞれ挨拶がありました。

続いて、当協議会の羽田 幹事（三井住友海上社）から、令和7年度の活動報告および令和8年度の活動計画の提案がありました。令和8年度も、保険金詐欺が疑われる事案や、保険金の不当不正な請求に関与する業者等の情報交換と対策等に取り組むことが、満場一致で承認されました。

その後、当協議会の 清原 副会長（あいおいニッセイ同和損保社）により、「損害保険事業の社会公共性に鑑み、警察との緊密な連携のもとにあらゆる暴力や犯罪を排除し、事業の健全な発展をはかる」旨の決意文が力強く読み上げられました。続いて、村上 副会長（損保ジャパン社）から、「社会公共性の高い損害保険事業の健全な発展のため、警察や関係団体とも連携して保険金犯罪の根源を断ち切るべく様々な対策に全力で取り組んでいく」旨の挨拶があり、第一部を終了しました。

第２部では、大阪府警察本部 交通部交通捜査課の 山内 朋之 捜査第三担当補佐から、「自賠責保険の被害者請求制度や健康保険制度を悪用した詐欺事件について」ご講演いただきました。講演では、整骨院の無資格施術による詐欺事件を取り上げ、容疑者の動機や手口、逮捕に至るまでの経緯等について、捜査の第一線での具体的な話を交えながら説明いただきました。

当支部では、各府県に協議会を設置し、警察をはじめ関係諸機関・団体と連携し、民事介入暴力対策および不当不正請求対策を進めています。

令和８年度　大阪府損害保険防犯対策協議会総会 式次第

第１部 総会

１．開式の辞

２．来賓・顧問紹介

３．来賓挨拶　財務省近畿財務局 理財部 金融監督第四課長 谷川 幸司 様
大阪弁護士会 副会長 尾島 史賢 様
一般社団法人 大阪損害保険代理業協会 会長 隼田 智貴 様

４．顧問挨拶　大阪府警察本部 刑事部捜査第四課 暴力団対策室長 阪東 康司 様
大阪府警察本部 生活安全部府民安全対策課 防犯担当管理官 横井 健志 様
大阪府警察本部 交通部交通捜査課 計画・指導担当管理官 前田 康晴 様

５．令和７年度活動報告・令和８年度活動計画（案）

６．決意文読み上げ

７．閉会の辞

第２部 講演　大阪府警察本部 交通部交通捜査課 捜査第三担当補佐 山内 朋之 様



開会挨拶をする岡田会長
（損保ジャパン社）



活動報告を行う羽田幹事
（三井住友海上社）



司会の明石幹事
（損保ジャパン社）



決意文を読み上げる清原副会長
（あいおいニッセイ同和損保社）



閉会挨拶をする村上副会長
（損保ジャパン社）



講演を行う山内氏
（大阪府警察本部交通部交通捜査課）